



…『キラキラ』の由来…
NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

…つばやきサロン…

年が明けて想うこと

これまでは、毎年のこととして、年が明けて、気分一新。

今年の目標！と気負って来たところだが、昨年末は、やり残した仕事がたくさんあって、御用納めがあっても、とても新しい年を迎えるという気分ではなかった。

大晦日に実家に帰って、昼間は片づけをする。夜になっても、家族は、親子三代で、御節づくりに忙しそう。

私は、いつもながら一人で、NHKの紅白をつけたままに、新聞や本を読む。

12時を迎えるころに、行く年来る年の知恩院の除夜の鐘を聞く。

一夜明けて、神棚にお祈りをし、仏壇にお供えをする。

それが終わると御節を囲んで御神酒を回し飲みし、新年を祝う。

世代が変わり、いつからか、お年玉をもらう立場から上げる立場になれども、子どものころからやってきたことを何十年も繰り返し行っている。

正月は、12月31日から一日がただ進んだだけなのであるが、不思議なことに、この一連の新年の迎える儀式を経て、いつのまにか気分がリセットされていることに気付く。

今年こそは！と一念奮起して力むよりは、短期と中期に分けて、淡々と一日一日を大事にしなから準備を進めて行くことにしよう。



市民活動サポートセンタースタッフ 神野 譲嗣

～ 1月1日 自宅にて ～

第120回 サポートセンターの日 2012年1月25日

NPO活動発表会 着地型観光プログラムの推進 ～地域資源活用によるまちづくり～

☆発表内容☆

「アートを通じて新しい環境を生み出す」



特定非営利活動法人
創を考える会・北九州
学芸リーダー
花田 伸一氏



特定非営利活動法人創を考える会・北九州は、アートを通じて地域を活性化することを目的に2004年4月に設立しました。

2010年7月には公益性の高さと運営の充実が評価され、アート系のNPOでは全国で初めての認定NPO法人に認定されました。

具体的な活動として、2004年～2006年は市内の個人、企業が所蔵している美術作品を公共のスペース各所に展示する取り組み「街じゅうアート in 北九州」を開催しました。2007年～2010年は地元企業と美術家とのコラボレーション「ものづくりアート」を産芸連携をテーマに開催しました。これらのアートプロジェクトによる効果として市民にとっては身近なアートの場、美術家にとっては魅力的な作品の制作の場として、北九州らしさを活かしながらアートと街を結びつける取り組みになりました。

アートを通じて、人と人をつなぐコミュニケーションの誘発を行ったり、多様な価値観（社会の多様性）を生み出すことにより、地域振興に貢献していきたいです。観光面においても、地域のうもれた魅力を掘り起こし、地域に新しい魅力を創りだすことができればと思っています。

今年10月に予定している「街じゅうアート in 北九州2012 (ART FOR SHARE)」では6組の美術家を招聘し、北九州市民とともに取り組めるプランを提案しています。4月以降、プランが固まり次第、ボランティアの募集等も行います。

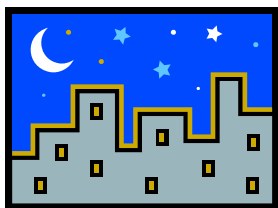
一緒にこの街の魅力を創りましょう。

☆発表内容☆

「地域資源を活用したにぎわいのあるまちづくり」



特定非営利活動法人
北九州タウンツーリズム
代表理事
大内田 佳介氏



2011年5月に『地域資源の活用と交流で北九州を元気にする』というミッションを掲げ「NPO北九州タウンツーリズム」を設立しました。2012年1月には法人格を取得し、「特定非営利活動法人北九州タウンツーリズム」が誕生しました。

事業内容は、人材育成・大人の学び場・まち歩きモデル化の3つです。「体験型まち歩き」を通して、多くの方にまちの魅力を知っていただき、まちのよさを再発見してもらうことを目的としています。日本のどのまちでも実施可能で、そこに住んでいる人がまちの細部に気付き、市民文化を知り、よりすばらしいまちにしようとするシビックプライドを育てます。

2011年からの新しい事業として「北九州まちの学校」を開催し、全く異なる業種のお店のコラボにより、参加者同士や参加者と店主が交流する講座を実施しました。また、「ようこそ北九州ツアー」と題し、転勤者や就職して間もない方々を対象に小倉のまちを案内するツアーや、様々な企業や団体と連携して市内各地でまち歩きツアーを行う「北九州まち歩き博覧会」を開催しました。

現在は、大学との連携事業として大学生が企画・運営するまち歩きの実施や新たなライフスタイルを提案する「北九州エコツアー」などにも取り組んでいます。

1+1=∞のように、多くの団体や企業、行政と連携し協働することで大きな成果が得られると考えています。各々が役割分担を行い win-win になることが地域の活性化につながるのではないのでしょうか。

イベント・ボランティア情報

◆◆第4回認知症・北九州大会
 ～知って 知らせて つなげよう～（有料）
 徘徊 SOS システムを有効に機能させるために、
 今できることを考え、実行していくことの大切さを
 発信します。



○日時：3月9日（金）
 18：30～21：00（開場18：00）
 ○場所：ウエル戸畑 大ホール
 ○参加費：500円（資料代として）
 ○内容：寸劇と音楽と最新情報で綴るオムニバス
 「いのちをつなぐ！今わたしにできること」
 ○申込：FAX かはがきにて
 〒802-0833
 小倉南区上石田二丁目21-23
 認知症・草の根ネットワーク事務局
 田代 久美枝 宛
 ○問合せ先：認知症・草の根ネットワーク事務局
 TEL/FAX 093-963-3075

◆◆平成24年度 JICAボランティア春募集
 技術や経験を活かして開発途上国の人々と共に生活し、
 協力活動をする海外でのボランティアを募集します。

☆募集内容：①「青年海外協力隊」
 ②「シニア海外ボランティア」
 ☆募集期間：4月1日（日）～5月14日（月）
 ☆応募資格：日本国籍を有する者
 ①満20歳～満39歳
 ②満40歳～満69歳（2012年5月14日時点）
 ☆派遣期間：原則として2年間。

<体験談&説明会>

☆日時：4月18日（水）19：00～
 4月28日（土）14：00～
 ☆会場：①JICA九州国際センター3階会議室
 ②JICA九州2階セミナールーム1, 2
 （28日は、同会場 セミナールーム3, 4）
 ☆問い合わせ先：JICA九州
 TEL093-671-8349
<http://www.jica.go.jp>

助成金・賞情報

助成金名	ジャンル	団体名	締切
平成24年度『街なか再生助成金』	まちづくり	(財) 区画整理促進機構・ 街なか再生全国支援センター	3/31
平成24年度 離島人材育成基金助成事業 「知的支援型事業」		北九州市	随時
第10回「ドコモ市民活動団体助成」	子ども	NPO法人モバイル・コミュニケーション・ ファンド(ドコモMCF)	3/30
平成24年度(上期募集) 北九州市文化振興基金奨励事業	文化・芸術	北九州市 市民文化スポーツ局文化振興課	3/15
平成24年度 公益信託 自然保護ボランティアファンド活動助成	環境	(一財) 自然公園財団	4/6
平成24年度 藤本倫子環境保全活動助成基金		(財) 日本環境協会	3/12

※詳細は当センターのホームページに掲載しております。
 また、当センターの助成金コーナー（ラック）には紙ベースでの情報を設置しております。

知って納得、NPO・ボランティアのあれこれ

Q. 特定非営利活動法人制度のメリットについて簡単に教えてください。

A. 社会の様々な分野において、ボランティア活動をはじめとした民間の非営利団体による社会貢献活動が活
 発化し、その重要性が認識されています。

これらの団体の中には、法人格を持たない任意団体として活動しているところも多数ありますが、任意団
 体では、団体名ではなく個人の名前でしか様々な契約を結ぶことができません。そのため、銀行口座の開設
 や事務所の賃借なども、個人の名前でおこなわなければならないという不都合が生じてしまいます。

特定非営利活動促進法により法人となれば、契約は団体名でできるため、このような不都合は解消するこ
 とができます。

NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成23年12月31日現在

	申請受理数 (含む申請中)	認証数 (現在数)
都道府県	42,829	40,963
【福岡県】	1,568	1,503
内閣府	3,568	3,328
全国計	46,397	44,291

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成24年1月31日現在

	申請受理数 (含む申請中)	認証数 (現在数)
【北九州】	281	275

2012年1月に認証された特定非営利活動法人
 NPO法人 北九州環境保全の会 (17日)
 特定非営利活動法人北九州タウンリズム (17日)

1月21日(土)にNPOのための広報セミナーがありました。概要は以下のとおりです。

★講師：山田 泰久氏(日本財団CANPAN事務局・日本ソーシャルブログ協会 会長)

1 何のための情報発信か

- ・存在を知ってもらうため。社会を変えるため。
- ・関係づくりのため。
よい団体は、「よい活動とよい情報発信」をしている。
- ・「伝える」情報発信から、「伝えてもらう」情報発信。
- ・情報の重要度は、発信者ではなく、受け手が決める。
- ・情報発信は「漢方薬」。じわじわ効く。

2 ブログ情報発信プラットフォーム論

- インターネット社会だからこそ
- ・ネットで発信し、人を集め、ネットで関係を保つ。
 - ・伝えたい人に一番伝えやすい方法で伝える。
 - ・ツールの選択と連携
発信から関係構築へ。
リアルタイムの情報と、リアルな姿を伝える。
リアルタイム情報は興味・関心を引き、過去情報は信頼につながる。

3 NPOの情報発信の課題整理

- ・情報発信の方法が分からない。
操作やツールが分からない。
これまでと違う層へアプローチがわからない。
- ・発信する内容がない。
- ・人も時間も無い。
- ・ミッションが共有されていない。
- ・ネットワークの必要性が意識されていない。



4 なぜインターネットなのか

- ・情報にかかるコストが劇的に安くなった。
- ・技術的にも簡単になり、誰でもできる手段が増えた。
- ・何かを調べるときは、ネットで調べる人が多い。
- ・いつでも、どこでも、誰でも、ほぼ無料で情報を不特定多数の人に発信できる。
(ブログ、ツイッターの活用)
- ・好き、嫌いではなく、出来る、出来ないではなく、どう活用するか時代の時代になった。



北九州市市民活動サポートセンター

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1階
 TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

★臨時休館日のお知らせ … センターのレイアウト変更に伴う
 工事により **3月9日(金)**を臨時休館とさせていただきます。

- ◆サポートセンターの日 … 毎月テーマを変えて、交流会をしています。
- ◆専門相談員が相談に対応 … 月～土曜日 17:00～21:00
日曜日・祝日 13:00～17:00
- ◆ミーティングコーナー … パーテーションで仕切った無料の会議室。
- ◆掲示板スペース … 団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。
- ◆利用時間 月曜日～土曜日 《10:00～21:00》
日曜日・祝日 《10:00～17:00》
【休館日】2月23日(木)、3月8日(木)

編集後記

先月、娘が成人式を迎えました。準備段階から大変でした。着物はもちろん、長襦袢や小物、草履、バッグ、髪飾り等。着物は、私が着た物で良いとのこと。流行の柄でもなく、私よりも背が高い分、衿も合いません。それでも母親の着物を着てくれるというのは、何となく嬉しいものです。当日は朝早く起きて、着付け、髪、メイクと進むにつれ、「馬子にも衣装」。

日頃化粧もあまりしない娘があっという間に二十歳の娘になりました。

これまで大きな病気も怪我も無く、元気で育ってくれたことに感謝しつつ、まだまだ母親業は、続いていきます。

b y おーちゃん